

活に及んだ。  
大学では、自分を見る級

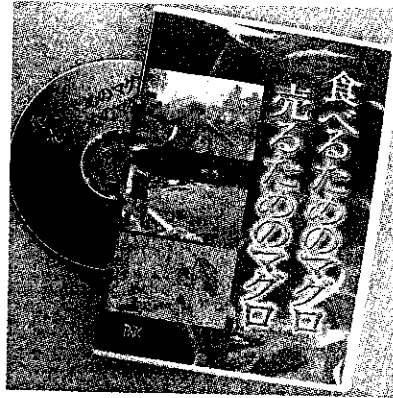
トゲーキを食べる

# くらし 家庭

## マグロの流通過程 映像教材に

NPO製作

マグロが食卓に上るまでの過程を紹介した映像教材「食べるためのマグロ、売るためのマグロ」写真書をNPO法人「アジア太平洋資料センター(PARC)」が発売した。同センターの試算によると、日本人のマグロの消費量は、1人当たり3・74キログラム(2005年)に達しているが、市場に届く前の事情を知る機会は少ない。



映像では、超低温冷凍技術で遠洋から運ばれる輸入マグロの増加や、マグロの養殖技術、貧しい海外の漁民の姿などを紹介。世界規模で繰り広げられるフードビジネスと、その裏にある資源の枯渇の問題などを31分のカラードキュメンタリー映像で検証している。VHSとDVDがあり、定価8000円(税別)。問い合わせは同センター(03・5209・3455)へ。

### こどもの詩

風船

下河辺 葵

真っ青な空をただよう  
一つの真っ赤な風船  
どんなに大きな雲よりも  
どんな鳥のむれよりも  
めだっていた  
まさに太陽の子だ

(茨城県銚田市・水戸英宏中1年)

赤い風船。高い風。ヒコーキが  
残っていくヒコーキ雲。空で目立  
つのは人のつくったものなんだ。  
(長田 弘)



関係機関  
消費者庁  
情報分析  
情報発信  
新規立法  
政策立案

福田首相が「来年度の設置」を明言した消費者庁。その身を検討している消費者庁行政推進会議が今月21日、6月上旬にもまとめられる最終報告書の素案を示した。素案では、消費者の信頼を

de  
かた

確保するため、便利でわかりやすい、迅速に対応するなど、「新組織が満たすべき6原則」を提示。新法の企画や立案、緊急案件の24時間対応などと相談窓口の強化、行政が被害者に代わって業者に損害賠償請求する制度の検討―などを盛り込んだ。

とから、同庁は自ら事故原因を調査。必要に応じて業者に改善を求めたり、規制をかける新法を制定したりするといった対応が想定される。パロマ工業製湯沸かし器の一酸化炭素中毒事故や悪質リフォーム事件などについて

も、情報を二元的に収集、分析し、監督省庁に対応を促したり、自ら権限を行使したりする。このため、消費者団体や日本弁護士連合会は今後、各地で消費者向けのシンポジウムを断続的に開催。世論を盛り

川裕子『刺し子と展』6月2~7  
橋の千正屋ギャラ  
は、重ねた布に様

々な模様を縫ったもの。洋画の  
吹き替え翻訳家、小川さんがあ  
い染め木綿や麻など和布で制作  
したベッドカバーやバッグ、コ  
ートなど約150点を展示する。  
日祝日は休館。問い合わせは、  
同ギャラリー(03・3281・0320)  
へ。